

高等学校「地理」「地学」における教科書記述の比較検討

Terminological comparison on "Geography" and "Earth Sciences" of high school textbooks

*山本 政一郎¹、尾方 隆幸²*Seiichiro Yamamoto¹, Takayuki Ogata²

1.福井県立福井商業高等学校、2.琉球大学教育学部

1.Fukui Commercial High School, 2.Faculty of Education, University of the Ryukyus

高校の「地理」の自然地理分野および「地学」の地球・大気・海洋分野は共通する内容が多い。共通分野については、両科目が協調して対象を取り扱うことで、より系統的・総合的な地球物理に関する理解が深まるはずである。しかしながら、同科目内においても教科書によって同じ概念を示す用語が異なる、あるいは、同じ用語の説明が異なる用語が散見される。これでは、共通理解どころか教えられる生徒側に理解の混乱をもたらす。これらの相違を即時に解消することは困難としても、教育者側が相違の現状を把握しておくことで、それらに留意した説明をするなど、教育現場での対応ができよう。

そこで本発表では、上掲の分野の中で、教科書によって異なる記載が見られる事項を中心に、地学・地理の全ての現行教科書（地理B3冊、地理A6冊、地学2冊、地学基礎5冊、科学と人間生活5冊の計21冊）を対象として表記の比較検討を行った。地形分野では大地形および、沖積平野に関する記述がどのように区分されているか、またそれらの発達過程の扱い方はどのようなものであるかについて、気象・気候分野では大気大循環で使われる用語・説明の範囲、および気候区分に関する記述の違いを中心に比較検討した。

キーワード：用語、高校教科書、地理教育、地学教育

Keywords: terminology, textbook of high school, geographical education, geoscience education